

土・まち・みどり

通信第1号

2000. 7. 1

発行 土とみどりを守る会

連絡先 3718-8558(柳島)

CONTENTS ごあいさつ◆春のつどいイベントレポート◆おくさわ今と昔◆グリーンサムのお庭拝見◆生活情報 梅の実の効能◆庭木と草花 季節のケア◆土とみどりを守る会の活動について◆会からのお知らせ◆土地の動き

ごあいさつ

私たち土とみどりを守る会は、住宅地の豊かな緑を住む人の手で守り育て、住み心地のよいまちを作っていこうという考えのもとに奥沢2丁目を中心に展開をしてきました。4月から活動も3年目に入り、このたび、まちや暮らしの身近な話題を集めた通信を年4回のペースで発行することになりました。皆様の情報交換の場として親しんでいただければ幸いです。

春のつどい イベントレポート

去る5月14日(日)、恒例となった土とみどりを守る会主催「春のつどい」が開かれました。

雨のために順延となってしまいましたが翌日曜日は快晴。青空の下、空き地ではキッチンハーブの寄せ植え体験をはじめ、さまざまなミニイベントが展開しました。

おなじみの「苗の交換・頒布会」には、この日のために住民有志の方々が育ててくれた草花の苗が集まりました。種から育てたトマトやそれぞれ品種が違うひょうたんの苗を持ってきてくださった方もありました。なかにはまだ小さな苗もありましたが、梅雨の季節を迎えて、手渡されたそれぞれのお宅で、すくすくと生長していることでしょう。

ご協力いただいた皆さん、どうもありがとうございました。



左上) 大事に育てた苗を手渡し
右上) お茶でくつろぐコーナー
左中央) 手作りお菓子とパンは完売!
右中央と左下) ハーブの寄せ植え体験
右下) 植木職人齋藤ご夫妻が庭木の手入れ
の相談に応じてくれました
その他生ゴミリサイクルの相談コーナー

おくさわ今と昔

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。



ドイツ村物語

奥沢2丁目 岡 哲男

昭和3年(1928)5月、碑会(ひぶすま)村大字衾(ふすま)(現大岡山)から奥沢に越してきた。当時は東京府荏原郡玉川村大字奥沢といった。

新しい土地は子供の眼にも自然に恵まれた環境と感じられた。洋風2階建ての新築住宅は、注文主の要求を満たすものであったろう。

近隣には、夫々200坪ほどの土地に7軒ほどの家が建っており、「ドイツ村」と呼ばれていた。ドイツ人が住んでいるわけでもないのにと不審に思ったが、明治大学教授で留学地のドイツから帰国した原熊吉氏が住んでいたのが理由と聞き、長年その通り信じていた。

ところが最近になって、「ドイツ風の家が建っていたから」という説を聞いて、確かに赤い洋瓦葺き2階建ての家が3軒あった風景が蘇り、この方が説得力があると思った。命名者が誰か定かでないがその感性に敬服した。

南は大井町線、北は九品仏川(現緑道)、東と西はいずれも奥沢から緑が丘へ通ずる道路に囲まれた地区をドイツ村と考えてよい。

最近老人会などに出席すると、「ドイツ村の岡さんでしょう」と声をかけられる。すでに死語と思い込んでいたので驚き、70年前に戻ってお互いの記憶を話し合い確かめあい、懐かしい思いに昔を偲ぶのであった。

時代の移り変わりにつれ、世代交代あり、土地の細分化あり、老朽による改築ありで、我が家を最後に昔の家はすべて姿を消してしまった。ドイツ村ゆかりの住民も今は片手で数えられるほどになってしまった。

終の棲家を選んだまち

奥沢2丁目 長瀬雅義

毎年々々萌葱色の新芽がふきだす季節を迎えると、終の棲家を奥沢に決めた頃を思い出します。

60年近く住み慣れた緑豊かな住宅地に次から次ぎへと庭木のない高層マンションが建つのを嫌って、この季節に奥沢に引越してきたからです。ここを選んだ理由は容積率のため高層マンションがなく、どの家の庭木も程良く剪定されていて落ち着いた住宅街との印象がとても強かったからです。

都会の住宅地という住人の職業がまちまちなため、なかなか親しく言葉を交わす機会がないものなのですが、「土とみどりを守る会」に参加して、古くからここに住んでいらっしゃる方々と住みよい住環境を守るためにとあれこれ楽しくお話ができるようになって転居の喜びをかみしめている昨今です。

また近くには季節ごとに質の高い旬のものを取りそろえている鮭屋や魚屋があることもこの地を離れがたいものになっています。

湘南の鎌倉や逗子も候補地にしましたが、住宅街の庭木が伸びるにまかせている家が多く、住民の美意識になじめなく二の足を踏んだことを付記しましょう。

皆さんからの原稿もお待ちしています。ご連絡をいただければこちらからお話を伺いにも参ります。

生活情報 梅の実の効能について

食べて健康はもちろん、梅の実の驚くべき効能について、幾種もの庭の梅を長年加工してこられた黒井真器さんに紹介していただきました。まだ間に合う方は、ぜひお試しください。

梅干しを漬けるにあたり、水を張った桶に一晚浸してあくを抜きますが、この水を捨てずにバケツなどにとっておいて掃除に使います。台所の流し、浴室のタイル、トイレなど、抗菌作用もあって清潔です。雑巾がけをしていると、雑巾もきれいになってきます。犬小屋の内部を拭いたり犬舎の床を洗ったり、また、犬

の毛を拭くとピカピカ、サラサラになり、今問題のアレルギー性疾患の犬にはびつたりです。梅の汁で洗濯したタオルを寝床に入れたところ、一晩で皮膚の痒みが消えたのにはびっくりしました。梅ジャムを煮るときも一晩水にさらし、さらにさっと1回茹でるのですが、この汁も同様に利用しています。

とにかくこの時季、私の両手がとてもきれいになるのです。掃除をすればするほど手がきれいになるのですから、体の内側も、と考えて、ジャムにする前の煮梅に砂糖や蜂蜜をかけていただいています。拾い忘れた梅の実が、草の陰で傷んでしまっているのを、捨てずに瓶に入れて水を入れ、その液を洗剤代わりに用いま

す。鍋や食器が美しい光沢に変わります。また、青梅一粒か二粒を糠漬けに入れておくとカビを防ぎ、漬け物の味が良くなることを発見しました。

梅の液に、木綿でも絹でもぼろ布を浸して乾かしたものを梅ふきんと称して、家具や漆器のつや出しに用いることを辰巳浜子女史の料理歳時記で知りました。新しい畳のカビ除けにも効果があると聞いています。

すべてご承知の方でも、まさか道端の梅一粒も見逃さずに御利用を・・・とすすめられたら仰天なさることでしょう。

無公害・自然の恵みを是非お試しください。

グリーンサムのお庭拝見

つい散歩の足を止めて見入ってしまうお庭ってありますよね。そんな気になるお庭のグリーンサムに、直撃インタビューを試みるコーナーです。自薦・他薦問いません、お勧めのお庭やちょっとしたグリーンコーナーをご紹介ください。

Vol.1 渡邊萬蔵さんのお庭へGO!

2丁目32-6の渡邊萬蔵さんのお庭はいつもお花でいっぱいです。よく手入れされた花たちは、機嫌よく道行く人々の方に顔を向けて咲き誇っています。花は話を理解する生き物と渡邊さんはおっしゃいます。きっと通る人が「まあきれい!」と思わず口にする言葉を嬉しく聞いているのでしょう。サフィニア、ペチュニア、コスモス、鉄砲百合、ダリア、バラ等々。お庭の中程には松・梅・桜・芙蓉・夏みかんまで。長いことお花に親しまれた婦人が亡くなられた後、ご主人が受け継がれて2年半とのお事ですが、以前御門のあった場所も花で埋まって、素晴らしい別天地が形成されています。

朝夕の水やりと花がら摘みのお手入れは大変な作業です。基本は土づくりというお話を聞きながら、何よりもお花に対する愛情の深さが一番ではないかと感じました。

渡邊さん流 栽培のポイント

① 土づくり

使用済みの土は牛糞と鶏糞を混ぜ、日陰の雨の当たる場所で4、5ヶ月休ませる。再び使う時に腐葉土・赤玉(たまに黒土も)混ぜる。

② 鉢

呼吸できるし熱が上がらないから、木の鉢が一番よい。

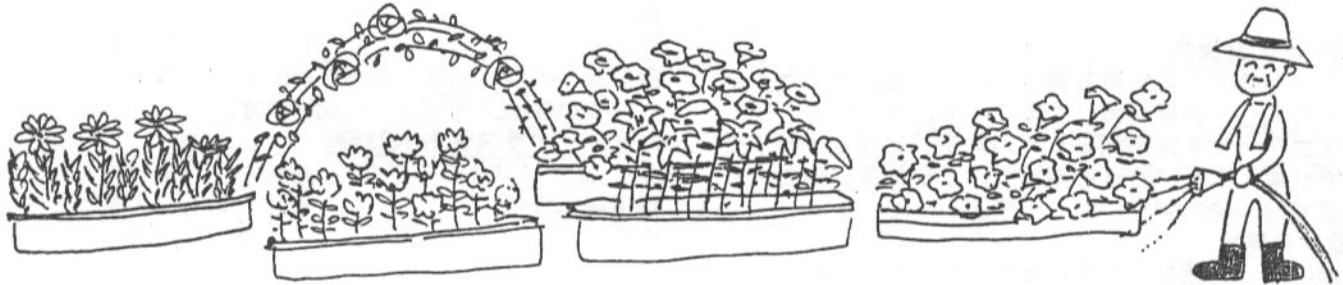
③ 日光と風通し

段差をつけて鉢を置く

④ 苗を育てる

丈夫そうに育てているものを求める。根がぎっしり詰まっているものは駄目。買った苗はプランターに何個も植えて、根が張るように大きく育て、青年になってから土ごと移植する。

150cmの鉢に3株でよい。追肥はしない。



庭木と草花 季節のケア

このコーナーでは、庭の草木の手入れのヒントを季節ごとに紹介していきます。

草花のケア

高温多湿の梅雨の季節は、草花にとっては試練の時。害虫や細菌に負けない丈夫な苗づくりに心掛けましょう。

- ① 晴れた日には太陽の光をしっかりと当てる
- ② 窒素肥料は控えめにする
- ③ 薄めた木酢液を苗や鉢土にスプレーする
- ④ コンパニオンプランツを利用する(例:近くにカモミール、ニラ、ニンニクを植えるなど)

また、水はけ、風通しをよくすることも重要な条件となります。

- ① 鉢底に小石やレンガなどをおいて空間をつくる
- ② 込み入った枝葉を切り取る
- ③ 枯れ葉や花柄をこまめに取り除く
- ④ 蒸れに特に弱いものは、少し高めの風通しのよいところに置いたりさげたりする、など。

真夏の対策としては;

- ① コンクリートの上に直接鉢を置かない(例:鉢皿を敷く、二重鉢にするなど)
- ② 西陽を遮る工夫をする
- ③ 灌水は早朝か夕方早めに、鉢底から流れ出るまでたっぷりと与える。などを心掛けましょう。

地植えの草花については、泥はねを防いだり、暑さから守るためにマルチングをするといいでしょ。(剪定した枝をシュレッターでチップ化し利用する)(杉村)

庭木のケア

庭木の成長がいつとき止まるこの時期は、生け垣の刈り込みや、徒長枝、絡み枝を切り取るよい時期です。紫陽花も盛りが過ぎたものは2~3枚の葉を残して切り取り、脇枝を出すようにすると来年が楽しみです。ツツジ、サツキもこの時期に花芽が芽生えるので、刈り込みはできるだけ早めに済ませましょう。

カイガラ虫の卵がかえる時期なので防除剤をかけ早めに駆除しましょう。スス病、ウドンコ病も発生するので見つけたら薬をかけ病気の広がるのを防がなければなりません。このほかアブラムシ、ケムシ、グンバイムシ、ハマキムシ、イモムシも見つけたい駆除することをお忘れなく。

梅雨が過ぎると乾燥が激しくなるので、根の浅い庭木には根元に敷藁や敷草をしてやるとともに、根の周りに水鉢をつくってたっぷり水をやり庭土が乾かないようにしてやらなければなりません。とくに今年移植した庭木には常緑樹、落葉樹を問わず水かけを忘れないよう気配りが必要です。9月に来襲する台風で備え庭木の倒れるのを防ぐために支柱を補強したり、補修しましょう。

ご心配のむきは、土とみどりを守る会事務局までご遠慮なくお問い合わせください。(MNI)

土とみどりを守る会

私たちの活動をご存じですか。

私たちは奥沢2丁目を中心に、まちや暮らしのあり方について、イベントや話し合いを通して積極的に取り組んでいます。

世代の交代とともに、私たちの周りの落ち着いた住環境が急速に変化しています。ミニ開発もその一例でしょう。私たちは、この時代の変化を踏まえながら、ここでもう一度、どんなまちを創っていきたいのか、このまちのどんなところが気に入っていて、または問題だと思っているのか、みんなで再発見・再認識するきっかけをつくっていききたいと思っています。

会の名称にある「土」と「みどり」というのは、まちと暮らしを守ってくれるもののシンボルとして使われています。居心地のいいほっとするまちには、やはり豊かな自然空間が暮らしと共存しています。

私たちは季節ごとにまちやみどりをテーマとしたさまざまな催しを行っています。

春と秋 苗の交換会

住民有志が育てた苗を持ち寄っての交換会。育てた人から育てる人へ、直接手渡しすることで、みどりを介してコミュニケーションが深まっています。生ゴミリサイクルや寄せ植えなど、もっと楽しくみどりと親しむための体験講座も一緒に用意しています。

夏 藍染め体験

空き地に育った藍を、まず収穫することから始めて、ハンカチなどに生葉染めを行います。年齢や経験に関係なく楽しめます。

秋 まちなみウォッチング

みんなでまちを歩いて、普段何気なく通り過ぎていたまちの面白さを再発見するイベントです。木や建物で歴史が見えてきます。

土地の動き情報

◎奥沢2-23の松岡邸跡地は8分割されて売り出し中です。お庭の美しい樹木が全部なくなりました。

◎奥沢2-42の大坂邸跡地は3分割で売り出し中です。1本の桜を残して生け垣と10本以上の緑が失われました。



新春 奥沢のまちをテーマに語り合う

奥沢暮らしが長い方も、そうでない方もともに集い、まちの歴史や現在・これからについて語り合う場です。

その他にも、花壇の植え込みや庭木の相談に応じたり、庭木の維持のための道具を貸し出ししたり、まちづくりのしくみを考えるなど、さまざまな活動を展開しています。

土とみどりを守る会は、当たり前前の暮らしの中でだれもが感じる楽しみ、そして疑問や不安をふつうの言葉で分かち合える、みんなで作りあげる会でありたいと考えています。関心のある方は、どうぞお気軽にご連絡ください。

会からのお知らせ

●次の催しは8月28日(月)に「夏のつどい」として昨年も好評だった「藍の生葉染め」を予定しています。詳しくはチラシでお知らせいたします。

●月に1回、定例会を開いています。どなたでもお気軽にご参加ください。

●会では、活動をともに運営していくメンバーを常時募集しています。得意分野を役立てたい、というのも大歓迎。どんなささやかなことでも、まずはご一報を!

●各欄への投稿記事を募っています。ご面倒な方には、こちらからインタビューに伺います。

カット・イラストも大歓迎。

また、記事に関するご感想・ご意見をお聞かせください。

●現在、今年1月に行われた歴史座談会の編集作業を進めています。テープ起こしなどご協力くださる方を募集しています。

●奥沢2-31の空き地には土地の持ち主の方が家を建築するまでの間、ご好意で「土とみどりを守る会」が管理させていただき利用している土地です。藍が成長したら葉を摘んで夏のつどいに役立てましょう。

只今シンボルフラワー募集中!!

奥沢2丁目を、共通の草花で彩ることができたら素晴らしいと思いませんか。シンボルフラワーにふさわしい、可愛く丈夫で育てやすい草花を教えてください。またおすすめる理由についても一言添えて下さい。

例) チェリーセージ・・・丈夫で香りがよく、虫がつきにくい。赤い可愛い花を咲かせる。

カモミール・・・リンゴのような甘い香りで、こぼれ種で毎年かわいい花をつけるのでおすすめ。

などなど。あなたのシンボルフラワー案をお待ちしています。

編集後記

あれこれ迷いながら、やっと第1号ができました。これから皆さまのご協力を頂いて育てたいと思っています。どんな事でもご連絡ください。ことしは暑い夏とのこと、お元気で。

土とみどりを守る会 連絡先

奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558